

2017年3月期

第2四半期決算の概要

2016.11.15

東急不動産ホールディングス株式会社

TOKYU FUDOSAN HOLDINGS CORPORATION

証券コード：3289

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績ハイライト

17年3月期第2四半期決算は減収減益も、通期は当初予算通り増収増益を計画

決算・予算 ハイライト

- 17年3月期第2四半期決算
営業収益3,193億、営業利益253億
投資家向けビル等売却収益の減少、住宅事業セグメントの土地の一括売却減少等により減収減益も、堅調な市況を背景に、**通期計画に対して順調に推移**
- 17年3月期予算
営業収益8,300億、営業利益730億、DEレシオ2.6倍
中期経営計画目標の確実な達成を目指す
- 配当
17年3月期は年間13円へ**4期連続の増配**を予定
- トピックス
竹芝プロジェクト着工（16年5月）
(株)学生情報センターグループのM&A（株式取得）を実施（16年11月）
賃貸住宅管理市場での更なる事業拡大を目指す

2017年3月期 第2四半期決算

各事業とも堅調に推移したものの、投資家向けビル等売却収益の減少等により減収減益

(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	対前年 同四半期	16年3月期 実績	17年3月期 予想(※)	進捗率	コメント(対前2Q)
営業収益	3,513	3,193	△ 320	8,155	8,300	38.5%	□営業収益・営業利益 堅調な市況を背景に業績は順調に推移したものの、投資家向けのビル等売却収益の減少等により減収減益
営業利益	295	253	△ 42	688	730	34.7%	
営業外収益	6	5	△ 0	12	—	—	
営業外費用	64	56	△ 8	136	—	—	
経常利益	237	203	△ 34	564	610	33.3%	□親会社株主に帰属する四半期純利益 熊本地震の影響によりゴルフ場の災害による損失を計上し減益
特別利益	—	2	2	3	—	—	
特別損失	—	12	12	99	—	—	
税引前利益	237	193	△ 44	468	—	—	
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	148	103	△ 45	287	315	32.8%	
総資産	20,066	20,886	819	19,844	—	—	
有利子負債	11,654	12,308	654	11,061	11,400	—	
自己資本	4,070	4,210	139	4,188	—	—	
自己資本比率	20.3%	20.2%	△ 0.1P	21.1%	—	—	
DEレシオ	2.9	2.9	0.1	2.6	2.6	—	
営業活動によるCF	23	△ 605	△ 629	879	—	—	※2016年11月9日に通期連結業績予想を一部修正いたしました。通期予想は修正後の予想を記載しております。 (全ページ共通)
投資活動によるCF	△ 658	△ 466	192	△ 1,124	—	—	
財務活動によるCF	350	1,265	915	△ 305	—	—	
現金及び現金同等物 期末残高	672	622	△ 50	399	—	—	

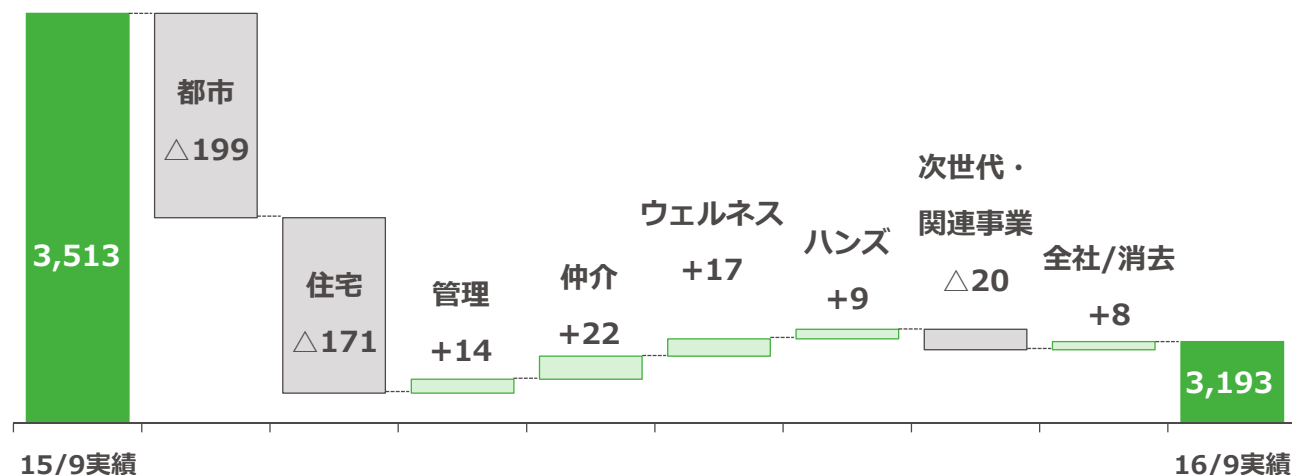
注) []の数値は計上額、+または△は増減を表しております。(全ページ共通)

2017年3月期 セグメント別第2四半期実績

都市・住宅事業セグメントにおける売却収益の減少等により減収減益

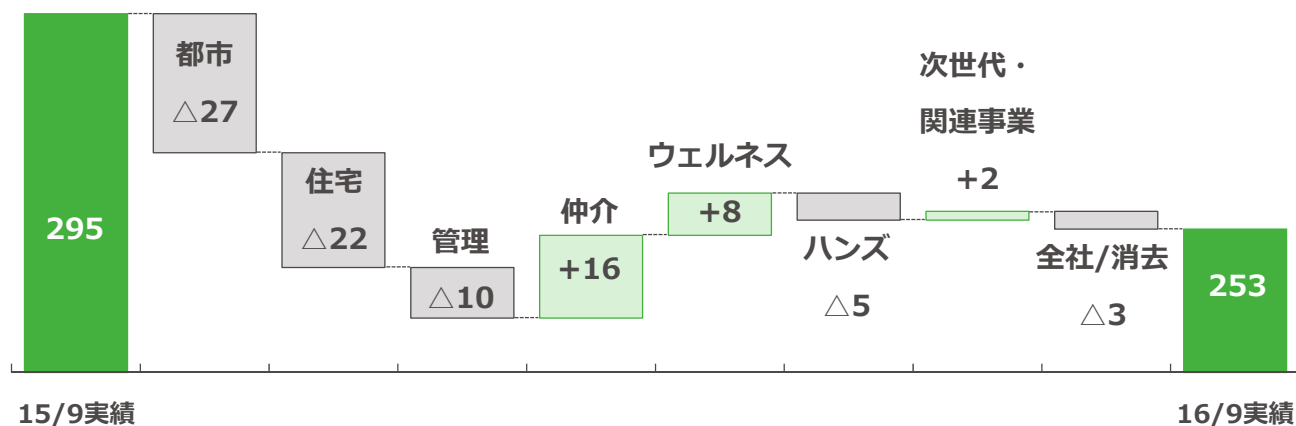
〈営業収益増減〉 (億円)

	16年3月期 2Q	17年3月期 2Q	増減
実績	3,513	3,193	△320



〈営業利益増減〉 (億円)

	16年3月期 2Q	17年3月期 2Q	増減
実績	295	253	△42



2017年3月期 第2四半期 期末BS

販売用不動産の増加・有利子負債の増加等により資産・負債ともに増加

(億円)	16年3月期 期末	17年3月期		コメント (前期末比)
		16年9月末	前期末比	
現預金	402	624	221	□販売用土地建物 ビル、賃貸・分譲マンションが増加
販売用土地建物	3,644	4,302	658	
固定資産	12,077	12,298	221	□固定資産 再開発に伴う投資・新規投資等により221億円増加 (参考) 賃貸等不動産の時価評価 ※16年3月末現在 期末簿価8,669億円、時価9,677億円、差額+1,008億円
のれん	759	736	△ 23	
投融資	2,032	1,985	△ 48	
売掛金・未収入金	342	246	△ 96	
その他	588	696	108	
資産計	19,844	20,886	1,042	
有利子負債	11,061	12,308	1,247	□有利子負債 資産の取得等により1,247億円増加
預り保証金・敷金	1,741	1,748	7	
預り金	543	518	△ 25	
買掛金・未払金	812	609	△ 203	
その他	1,463	1,454	△ 9	
負債計	15,620	16,637	1,017	
自己資本	4,188	4,210	22	□自己資本比率 20.2% (前期末21.1%)
非支配株主持分	36	39	3	
純資産計	4,224	4,249	25	

2017年3月期 業績予想

ウェルネス事業セグメント・住宅事業セグメントを中心に増収増益を計画

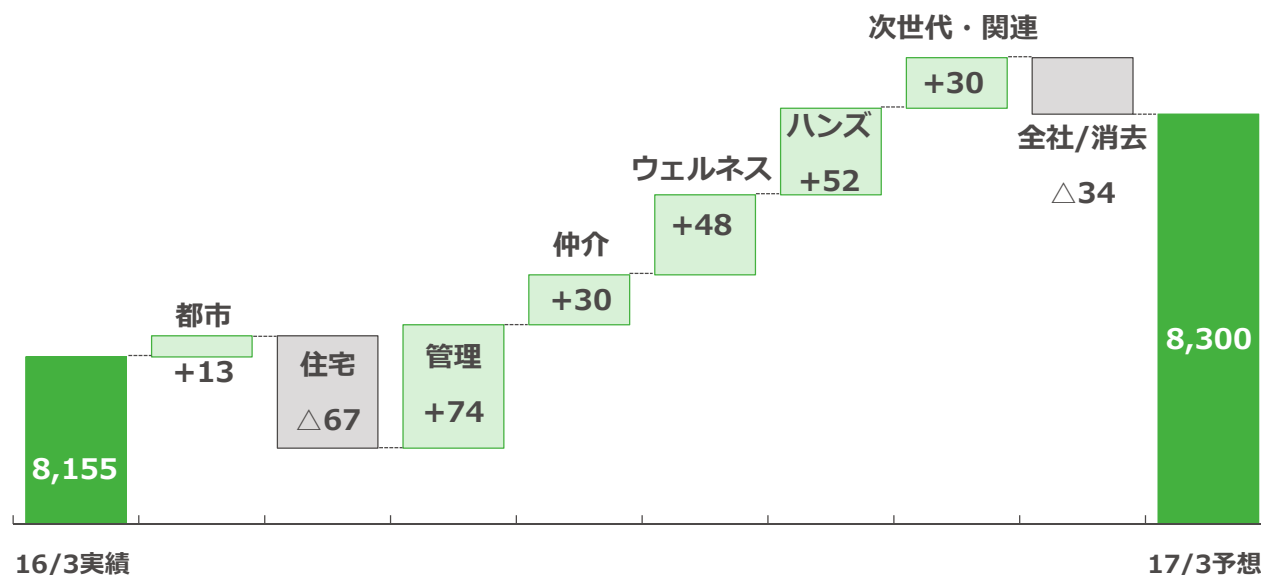
(億円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	対前期	17年3月期 当初予想	対当初	コメント(対前期)
営業収益	8,155	8,300	145	8,400	△ 100	□営業収益 住宅事業セグメントが土地の一括売却減少等により減収 もその他の全てのセグメントで売上が増加し増収
営業利益	688	730	42	730	—	
営業外収益	12	—	—	—	—	□営業利益 次世代・関連事業セグメント改善のほか、好調に推移 するウェルネス事業セグメントや分譲マンションの 利益率改善等を見込む住宅事業セグメントを中心に増益
営業外費用	136	—	—	—	—	
経常利益	564	610	46	610	—	□有利子負債 新規投資等により有利子負債増加
特別利益	3	—	—	—	—	
特別損失	99	—	—	—	—	
税引前利益	468	—	—	—	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	287	315	28	315	—	□DEレシオ 自己資本の拡充により2.6倍を維持する計画
総資産	19,844	—	—	—	—	
有利子負債	11,061	11,400	339	11,400	—	□配当 年間13円に増配を予定
自己資本	4,188	—	—	—	—	
自己資本比率	21.1%	—	—	—	—	
DEレシオ	2.6	2.6	—	2.6	—	
1株当り配当	12円	13円	1円	13円	—円	
連結配当性向	25.4%	25.1%	△ 0.3P	25.1%	—%	

2017年3月期 セグメント別業績予想

都市事業セグメントは売却益の減少等により減益も、その他のセグメントでカバー

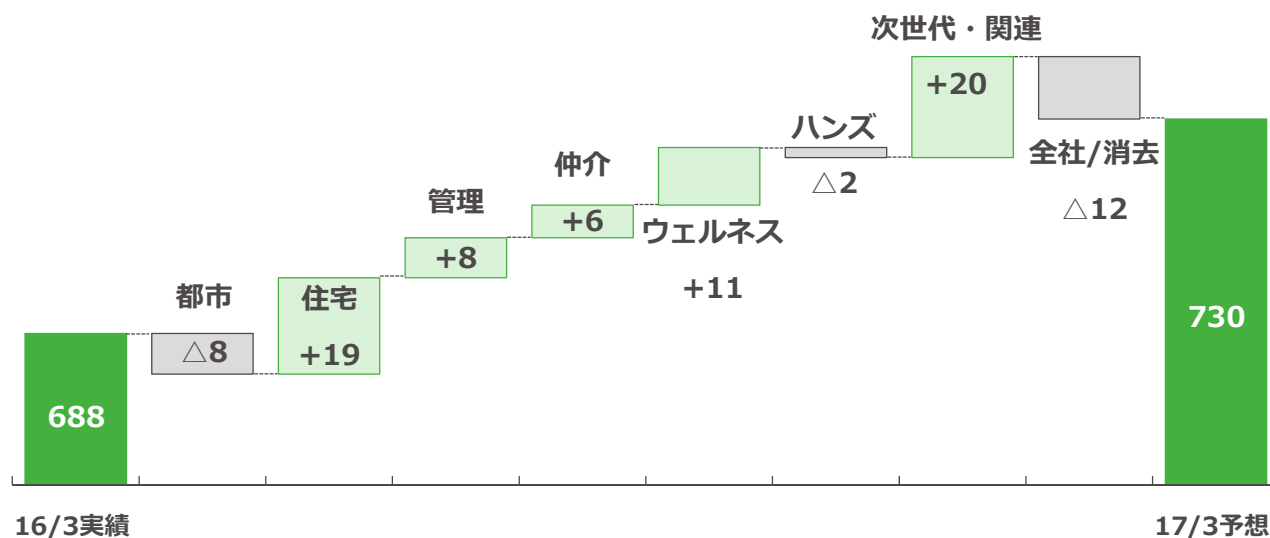
〈営業収益増減〉 (億円)

16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減
8,155	8,300	+145



〈営業利益増減〉 (億円)

16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減
688	730	+42



都市事業① 2017年3月期 第2四半期実績

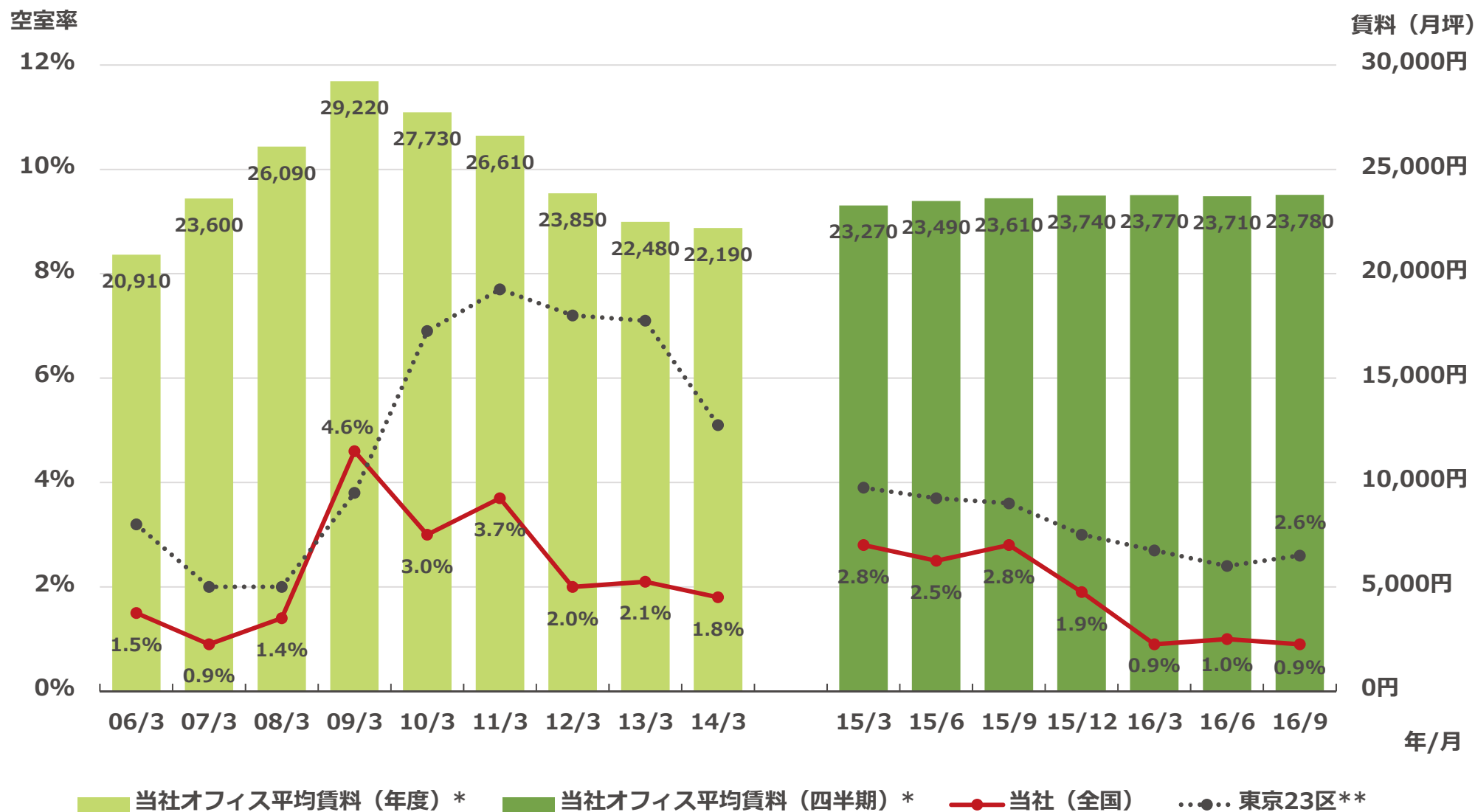
2Q 減収減益 2017年3月期予想 増収減益

(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	増減	備考 (対前2Q)	進捗率
売上高	999	800	△ 199		30.8%
賃貸 (オフィス)	194	190	△ 3	新規+42,売却解約逸失△28	
賃貸 (商業施設)	199	218	20		
資産運用等	349	108	△ 242	売却[66] △239	
住宅賃貸等	258	284	26		
営業利益	227	200	△ 27	新規+21,売却解約逸失△13,売却益△32	45.5%

(億円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減	備考 (対前期)	17年3月期 当初予想	増減
売上高	2,587	2,600	13		2,434	166
賃貸 (オフィス)	381	379	△ 3	新規+79,売却解約逸失△43	378	0
賃貸 (商業施設)	393	436	43		425	11
資産運用等	1,266	1,113	△ 154	売却[1,017] △154	1,024	88
住宅賃貸等	547	672	126	M&A	606	66
営業利益	448	440	△ 8	新規+50,売却解約逸失△22,売却益△35	433	6

都市事業② 空室率・賃料の推移

2016年9月末 空室率 0.9%（入居ベース、オフィス・商業）



* 当社オフィス平均賃料は東急不動産株式会社における共益費込みの賃料を表示しております。

** 東京23区の資料：シービーアールイー株式会社「ジャパンオフィスマーケットビュー」

都市事業③ 主要プロジェクト

年度	主要プロジェクト	主要用途	延床面積* (千㎡)	開業月
2015	CROSS PLACE 浜松町	オフィス	12	15年 4月 取得
	もりのみやキューズモールBASE (借地権付建物)	商業	24	15年 4月
	二子玉川ライズ (第2期事業)	オフィス/商業	157	15年 4月
	マーケットスクエア川崎イースト (借上)	商業	30	16年 2月
	東急プラザ銀座	商業	51	16年 3月
2016	アクソール六本木	商業	5	16年 9月 取得
2017	MM21-32街区 オフィス計画	オフィス	55	17年度
	(仮称) 玉川二丁目計画	商業	3	17年度
	(仮称) 銀座一丁目計画	商業	1	17年度
	(仮称) 新橋三丁目計画	ホテル/商業	4	17年度
	(仮称) 心斎橋筋二丁目計画	商業	1	17年度
2019	(仮称) 南平台プロジェクト	オフィス	46	19年度
	(仮称) 東池袋一丁目シネマコンプレックスプロジェクト	商業/映画館	17	19年度
	道玄坂一丁目駅前地区再開発計画	オフィス/商業	59	19年度
2020	都市再生ステップアップ・プロジェクト (竹芝地区) (借地権付建物)	オフィス/商業/住宅	200	20年度
	(仮称) 神宮前六丁目地区市街地再開発事業	商業/公共公益施設	22	20年度
	渋谷駅桜丘口地区再開発計画	オフィス/商業/住宅	250	20年度

* プロジェクト全体 (持分換算前)

都市事業④ 主要プロジェクト〈広域渋谷圏〉

2016年3月 道玄坂一丁目プロジェクト、7月 南平台プロジェクトがそれぞれ着工



* アクティブ・プロパティーズ投資法人

都市事業⑤ 主要プロジェクト〈銀座・竹芝〉

2016年3月 東急プラザ銀座が開業、 5月 竹芝プロジェクトが着工



東急プラザ銀座
用途：商業
延床面積：約51千㎡
開業：2016年3月31日開業



都市再生ステップアップ・プロジェクト（竹芝地区）
用途：オフィス・商業・住宅
延床面積：約200千㎡
開業：2020年度予定

都市事業⑥ 商業系開発プロジェクト

2017年度・2019年度に商業系開発プロジェクト5施設が開業予定

(仮称) 玉川二丁目計画



地上3階 地下1階
用途 商業
延床面積：約3千㎡
着工 2016年5月
開業 2017年春（予定）

(仮称) 銀座一丁目計画

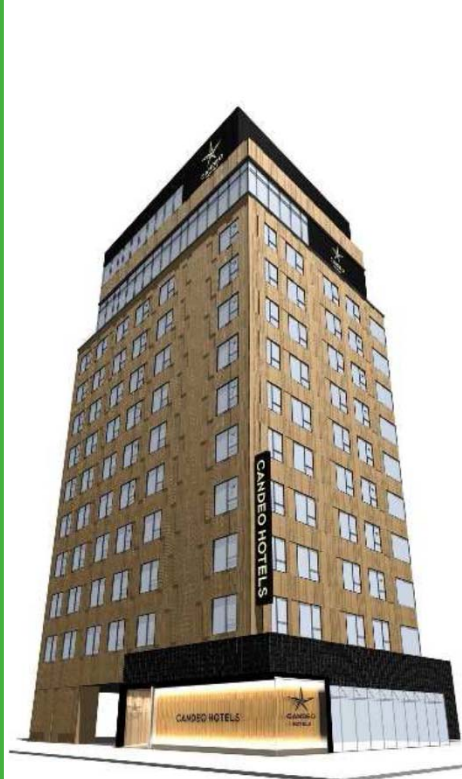


地上7階 地下1階
用途 商業
※オフィスから商業へ用途変更
延床面積：約1千㎡
着工 2016年9月
開業 2017年春（予定）

(仮称) 心斎橋筋二丁目計画

地上2階 地下1階 用途 商業
延床面積：約1千㎡ 開業 2017年（予定）

(仮称) 新橋三丁目計画



地上12階
用途 ホテル・商業
延床面積：約4千㎡
着工 2016年8月
開業 2017年冬（予定）

(仮称) 東池袋一丁目
シネマコンプレックスプロジェクト



地上14階 地下2階
用途 商業・映画館
延床面積：約17千㎡
開業 2019年度（予定）

住宅事業① 2017年3月期 第2四半期実績

2Q 減収減益 2017年3月期予想 減収増益

(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	増減	備考 (対前2Q)	進捗率
売上高	453	282	△ 171		25.4%
マンション	342	236	△ 106	計上戸数 △161戸 [572戸]	
戸建	35	42	7		
その他	76	4	△ 72	土地一括売却減	
営業利益	14	△ 9	△ 22		-

(億円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減	備考 (対前期)	17年3月期 当初予想	増減
売上高	1,177	1,110	△ 67		1,167	△ 57
マンション	876	974	99	計上戸数 △310戸[1,582戸]	1,079	△ 104
戸建	75	88	13		82	6
その他	227	47	△ 179	土地一括売却減	6	41
営業利益	70	89	19		89	-

注) 表中、[]の数値は計上額を表しております。

住宅事業② マンション計画概要

2017年3月期 高価格帯物件の販売好調により増収を見込む

計上年度	2015年3月期実績	2016年3月期実績	2017年3月期計画	2018年3月期計画
計上戸数	2,027戸	1,892戸	1,582戸 (予)	-
売上高	897億円 (対前期△436億円)	876億円 (対前期△21億円)	974億円 (予) (対前期+99億円)	2018年3月期以降手当済 合計 約 8,700戸
期首契約確保率	44%	34%	57%→84% (9月末)	
期末完成在庫	303戸	396戸	229戸 (9月末)	-
主な計上予定 戸数は販売対象戸数 () 内はシェア	アトラス*ランス*ター三河島 313戸 (50%) 	アトラス*シティ品川勝島 356戸 (100%) 	アトラス*ターみなとみらい 228戸 (100%) 	アトラス*横浜 210戸 (50%) 
	アトラス*市が尾ヒルトップ 140戸 (75%) アトラス*二子玉川 58戸 (100%) アトラス*宝塚梅野町 140戸 (100%)	アトラス*戸塚 109戸 (100%) アトラス*ター・ウェリス心齋橋 246戸 (65%) アトラス*シティあべの王子町 318戸 (100%)	アトラス*サ・ルクス 一番町 56戸 (100%) アトラス*シティ久が原 278戸 (100%) アトラス*加古川駅前 150戸 (60%)	アトラス*渋谷常盤松 72戸 (85%) アトラス*ター御堂筋本町 276戸 (50%) アトラス*ター・ウェリス心齋橋SOUTH 202戸 (65%)
土地投資額	717億円 (2,853戸)	522億円 (2,847戸)	450億円 2Q : 187億 (638戸)	-

管理事業① 2017年3月期 第2四半期実績

2Q 増収減益 2017年3月期予想 増収増益

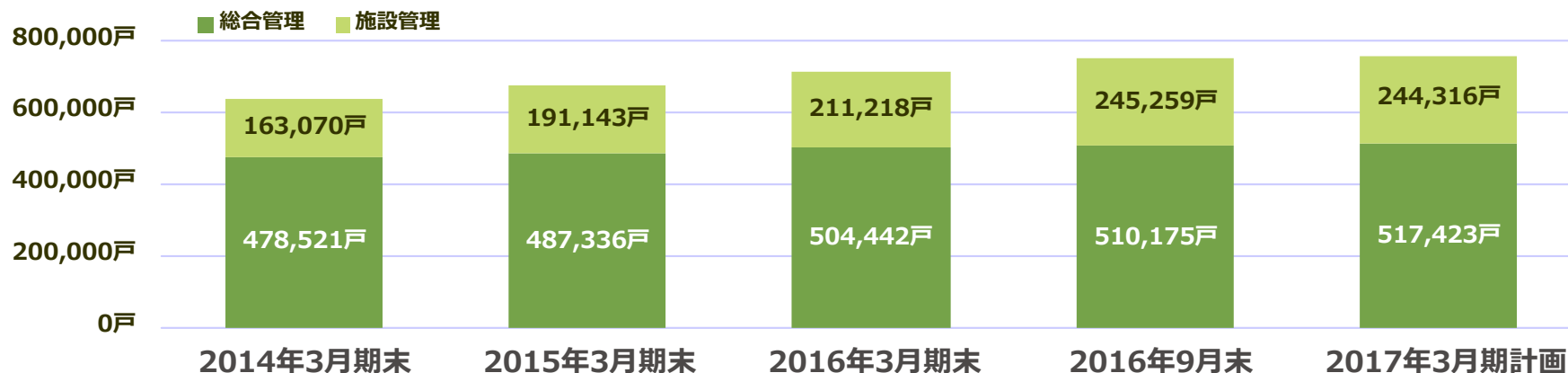
(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	増減	備考 (対前2Q)	進捗率
売上高	689	703	14		46.0%
マンション	489	506	17	管理+3、工事+14	
ビル等	200	196	△ 3	工事完工高減	
営業利益	38	28	△ 10	戦略投資に伴う費用増、工事完工高減	31.7%

(億円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減	備考 (対前期)	17年3月期 当初予想	増減
売上高	1,452	1,526	74		1,526	-
マンション	1,056	1,115	59	管理+7、工事+51	1,118	△ 3
ビル等	396	411	15		408	3
営業利益	80	88	8		90	△ 2

管理事業② 物件ストック状況

マンション・ビルともに順調に積み上げ、管理ストックが拡大

〈マンション総合管理／施設管理戸数ストック推移〉



マンション管理戸数 (対前3月期末)	641,591戸 (+23,904戸)	678,479戸 (+36,888戸)	715,660戸 (+37,181戸)	755,434戸 (+39,774戸)	761,739戸 (+46,079戸)
うち 総合管理	478,521戸	487,336戸	504,442戸	510,175戸	517,423戸
うち 施設管理	163,070戸	191,143戸	211,218戸	245,259戸	244,316戸

〈ビル／その他物件数ストック推移〉



ビル等 (対前3月期末)	1,305件 (△25件)	1,360件 (+55件)	1,453件 (+93件)	1,482件 (+29件)	1,498件 (+45件)
-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

仲介事業① 2017年3月期 第2四半期実績

2Q 増収増益 2017年3月期予想 増収増益

(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	増減	備考 (対前2Q)	進捗率
売上高	345	368	22		44.1%
売買仲介	228	253	25	リテール+17、ホールセール付帯収益増	
販売受託	11	12	2		
不動産販売	88	91	3		
その他	18	11	△7		
営業利益	40	56	16	売買仲介+12	51.7%

(億円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減	備考 (対前期)	17年3月期 当初予想	増減
売上高	803	833	30		833	-
売買仲介	484	518	34	リテール+29、ホールセール付帯収益増	513	5
販売受託	27	30	3		33	△3
不動産販売	263	263	△0		265	△2
その他	30	23	△7		23	△0
営業利益	102	109	6		105	3

仲介事業② 売買仲介営業指標

好調な市況を背景にリテール部門は取扱件数・平均取扱価格ともに上昇

	2017年3月期 2Q実績			概況
	リテール	ホールセール	合計	
件数 (対前期)	11,000件 (+9.2%)	487件 (△6.3%)	11,487件 (+8.4%)	□リテール ・取引件数、平均取扱価格ともに上昇し増収 ・新規7店舗出店（国立、高円寺、仙台東口、豊中他） □ホールセール ・前年同期の大型物件成約の反動により、平均取扱価格が下落（550百万円→228百万円）も、手数料率は改善（1.7%→4.0%）
取扱高 (対前期)	3,999億円 (+11.0%)	1,110億円 (△61.2%)	5,109億円 (△21.0%)	
平均取扱価格 (対前期)	36百万円 (+1.6%)	228百万円 (△58.6%)	44百万円 (△27.1%)	
手数料率	4.7%	4.0%	4.6%	

	2016年3月期 実績			2017年3月期計画		
	リテール	ホールセール	合計	リテール	ホールセール	合計
件数 (対前期)	20,851件 (+12.3%)	1,088件 (+9.3%)	21,939件 (+12.1%)	23,120件 (+10.9%)	1,082件 (△0.6%)	24,202件 (+10.3%)
取扱高 (対前期)	7,506億円 (+15.1%)	4,610億円 (+28.6%)	12,116億円 (+19.9%)	8,305億円 (+10.6%)	2,515億円 (△45.4%)	10,820億円 (△10.7%)
平均取扱価格 (対前期)	36百万円 (+2.5%)	424百万円 (+17.6%)	55百万円 (+6.9%)	36百万円 (△0.2%)	232百万円 (△45.1%)	45百万円 (△19.0%)
手数料率	4.7%	2.4%	3.9%	4.7%	4.2%	4.5%

ウェルネス事業① 2017年3月期 第2四半期実績

2Q 増収増益 2017年3月期予想 増収増益

(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	増減	備考 (対前2Q)	進捗率
売上高	421	438	17		46.1%
リゾート運営*	149	149	0		
オアシス	82	84	3	既存改善	
シニア住宅	32	31	△ 1		
東急ステイ	42	50	8	新規稼働（銀座）、既存改善	
福利厚生代行	38	44	5		
別荘・会員権販売	18	21	3	別荘地売上増、新規会員権募集（軽井沢）	
その他	60	59	△ 1		
営業利益	15	23	8		30.9%

(億円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減	備考 (対前期)	17年3月期 当初予想	増減
売上高	902	950	48		985	△ 35
リゾート運営*	349	361	12	既存施設（スキー）改善	364	△ 3
オアシス	164	170	6	既存改善	170	1
シニア住宅	65	64	△ 1		63	0
東急ステイ	87	99	12	新規稼働（銀座）、既存改善	98	1
福利厚生代行	77	87	10		87	△ 1
別荘・会員権販売	42	53	11	別荘地売上増、新規会員権募集（軽井沢）	86	△ 33
その他	119	117	△ 2		116	1
営業利益	64	76	11		75	0

* ゴルフ場、ハーヴェストクラブ、スキー場の売上高合計。

ウェルネス事業② 主要プロジェクト

2017年度以降、地方主要都市も含めた東急ステイの新規出店を計画

種別	主要プロジェクト	主要用途	開業月
ステイ	東急ステイ銀座 (仮称) 東急ステイ泉岳寺 (仮称) 東急ステイ烏丸御池 (仮称) 東急ステイ福岡	都市型ホテル	16年3月 17年度 " 18年度
ハーヴェスト	東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA	会員制リゾートホテル	18年度
シニア	グランクレール世田谷中町 (仮称) 十日市場プロジェクト	シニア住宅（・分譲マンション） シニア住宅（・分譲マンション等）	17年度 19年度
その他	ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄	ホテル	18年度



東急ハーヴェストクラブ 軽井沢&VIALA
2018年度開業予定



ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄
2018年度開業予定

ハンズ事業 2017年3月期 第2四半期実績

2Q 増収減益 2017年3月期予想 増収減益

(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	増減	備考 (対前2Q)	進捗率
売上高	474	484	9	新店+20、既存店△4.5%	47.9%
営業利益	3	△ 2	△ 5		-

(億円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減	備考 (対前期)	17年3月期 当初予想	増減
売上高	957	1,009	52	新店+37, 専門店+14	1,023	△ 14
営業利益	11	9	△ 2		9	-

次世代・関連事業 2017年3月期 第2四半期実績

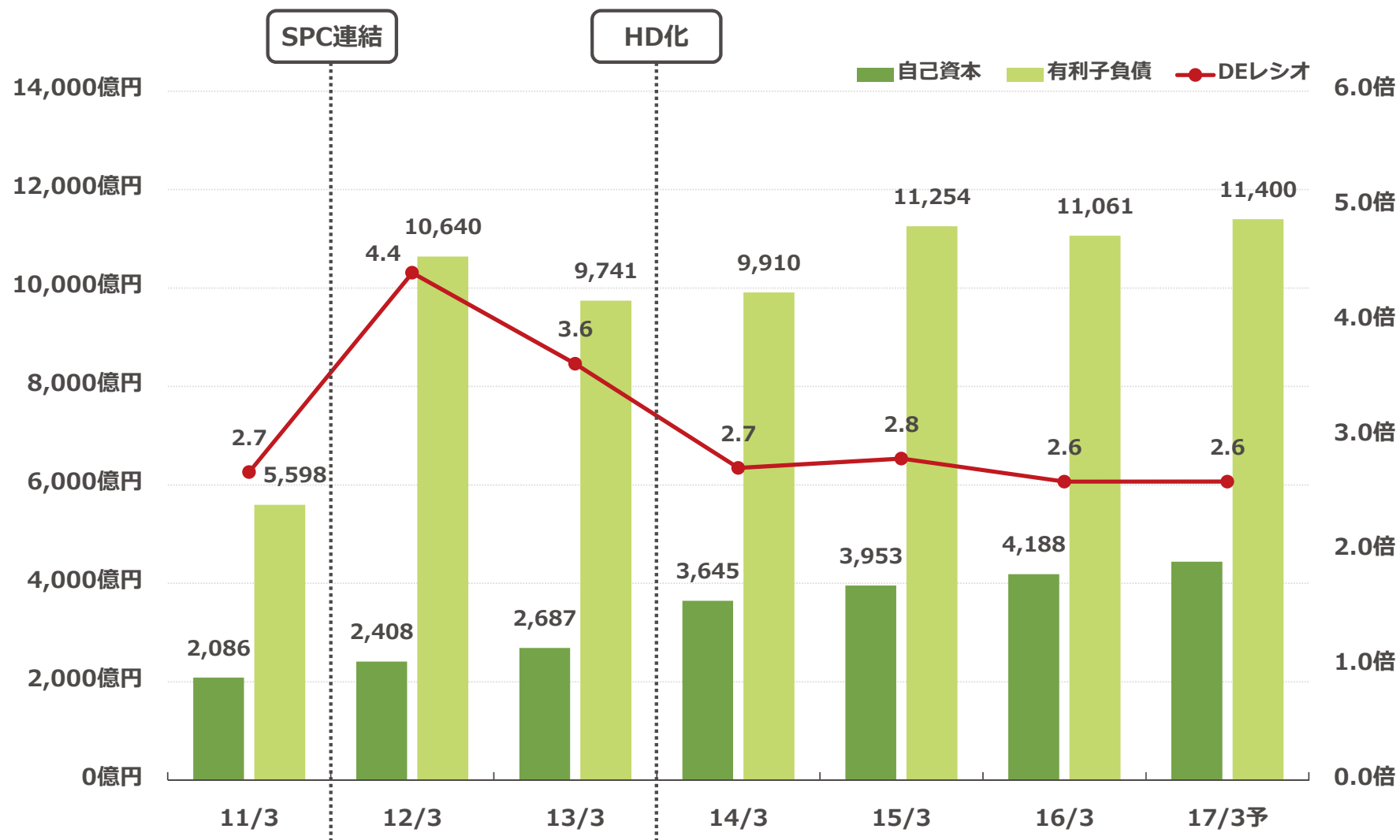
2Q 減収増益 2017年3月期予想 増収増益

(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	増減	備考 (対前2Q)	進捗率
売上高	240	220	△ 20	海外事業減	40.5%
営業利益	△ 16	△ 14	2		—

(億円)	16年3月期 実績	17年3月期 予想	増減	備考 (対前期)	17年3月期 当初予想	増減
売上高	512	542	30	注文住宅等完工高増	703	△ 160
営業利益	△ 30	△ 10	20		△ 6	△ 4

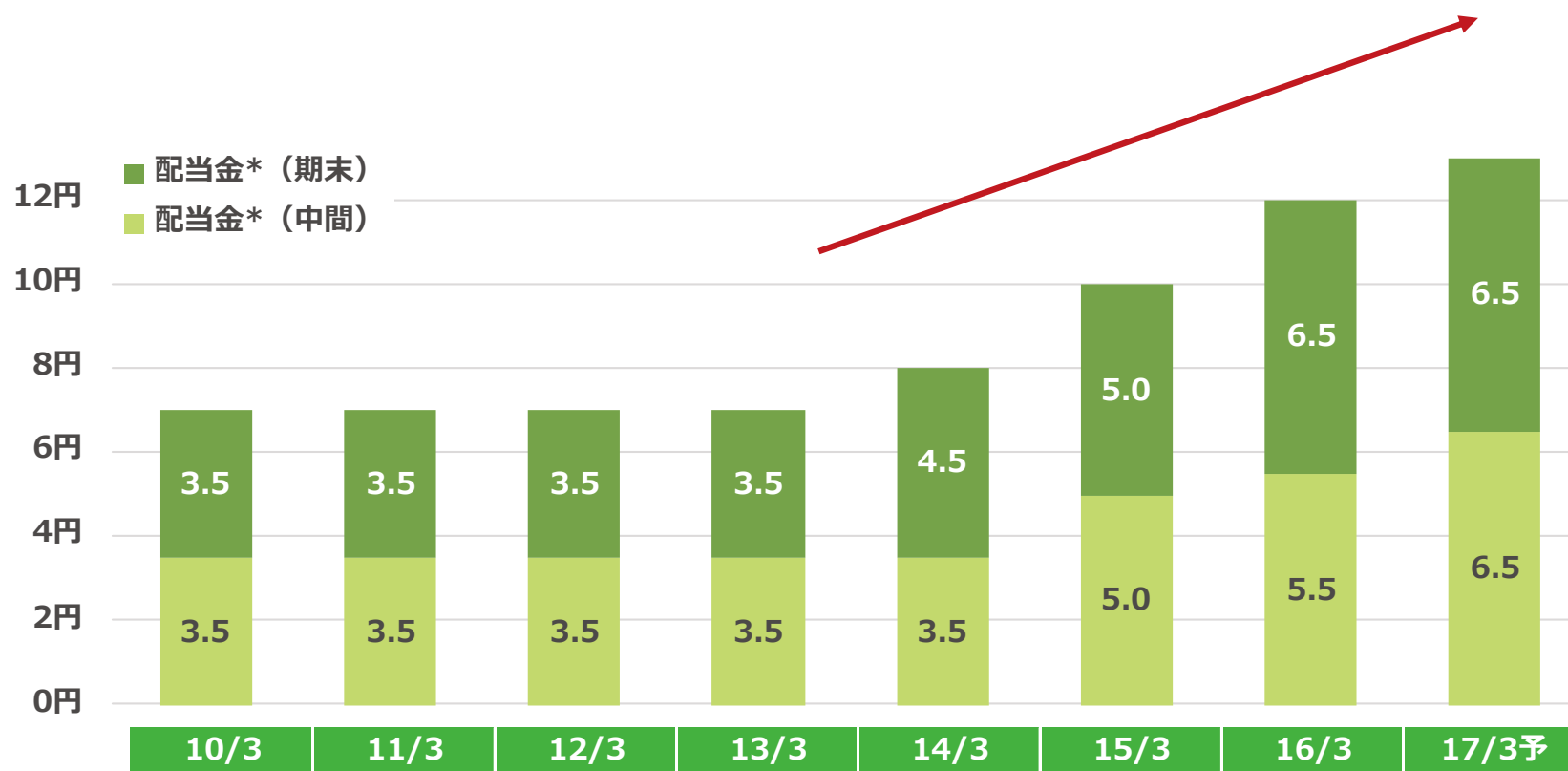
自己資本・有利子負債の推移

外部格付 (JCR) 長期：A- 短期：J-1



株主還元

17年3月期は年間13円へ4期連続の増配を予定



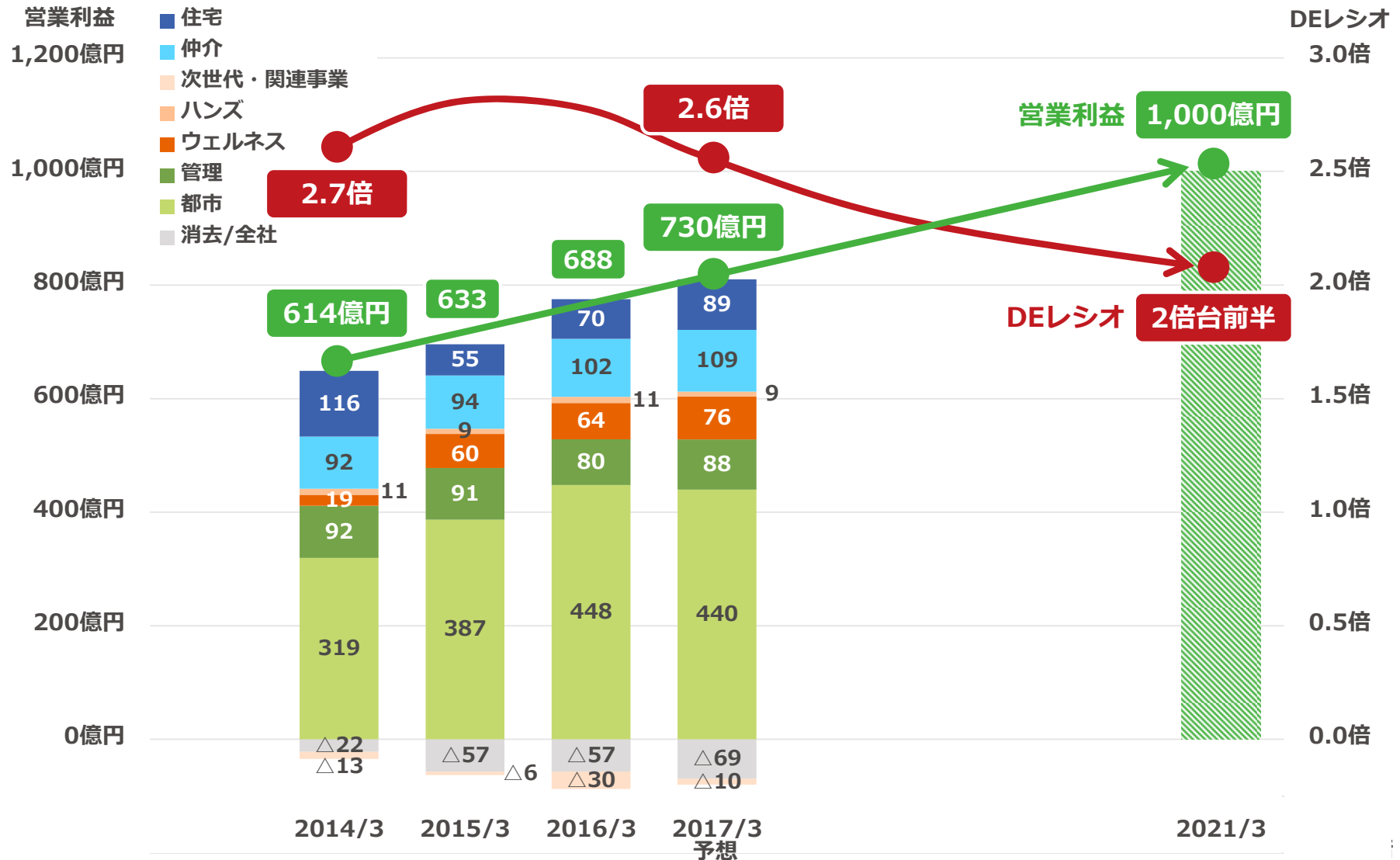
	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3予
当期純利益 (億円) **	111	116	342	221	237	252	287	315
EPS (円)	20.82	21.84	64.40	41.71	41.61	41.45	47.18	51.74
配当性向 (%)	33.6	32.1	10.9	16.8	19.2	24.1	25.4	25.1

* 2014年3月期の中間配当以前の配当金は、東急不動産株式会社における配当金を記載しております。

** 2016年3月期より「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

参考資料

参考① 中長期経営計画の進捗



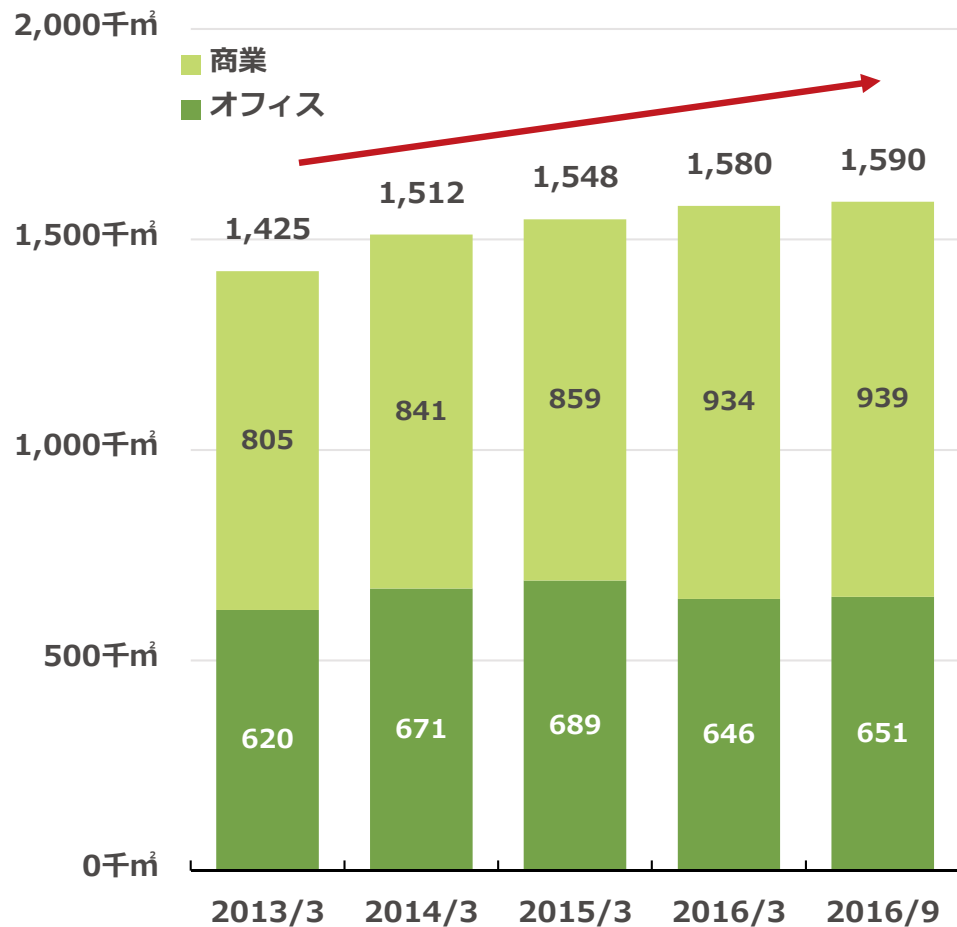
参考② 2017年3月期 セグメント別第2四半期実績

(億円)	16年3月期 2Q(4~9月)	17年3月期 2Q(4~9月)	対前年 同四半期	16年3月期 実績	17年3月期 予想	進捗率
営業収益	3,513	3,193	△ 320	8,155	8,300	38.5%
都市	999	800	△ 199	2,587	2,600	30.8%
住宅	453	282	△ 171	1,177	1,110	25.4%
管理	689	703	14	1,452	1,526	46.0%
仲介	345	368	22	803	833	44.1%
ウェルネス	421	438	17	902	950	46.1%
ハンズ	474	484	9	957	1,009	47.9%
次世代・関連事業	240	220	△ 20	512	542	40.5%
全社・消去	△ 109	△ 101	8	△ 237	△ 271	—
営業利益	295	253	△ 42	688	730	34.7%
都市	227	200	△ 27	448	440	45.5%
住宅	14	△ 9	△ 22	70	89	—
管理	38	28	△ 10	80	88	31.7%
仲介	40	56	16	102	109	51.7%
ウェルネス	15	23	8	64	76	30.9%
ハンズ	3	△ 2	△ 5	11	9	—
次世代・関連事業	△ 16	△ 14	2	△ 30	△ 10	—
全社・消去	△ 27	△ 30	△ 3	△ 57	△ 69	—

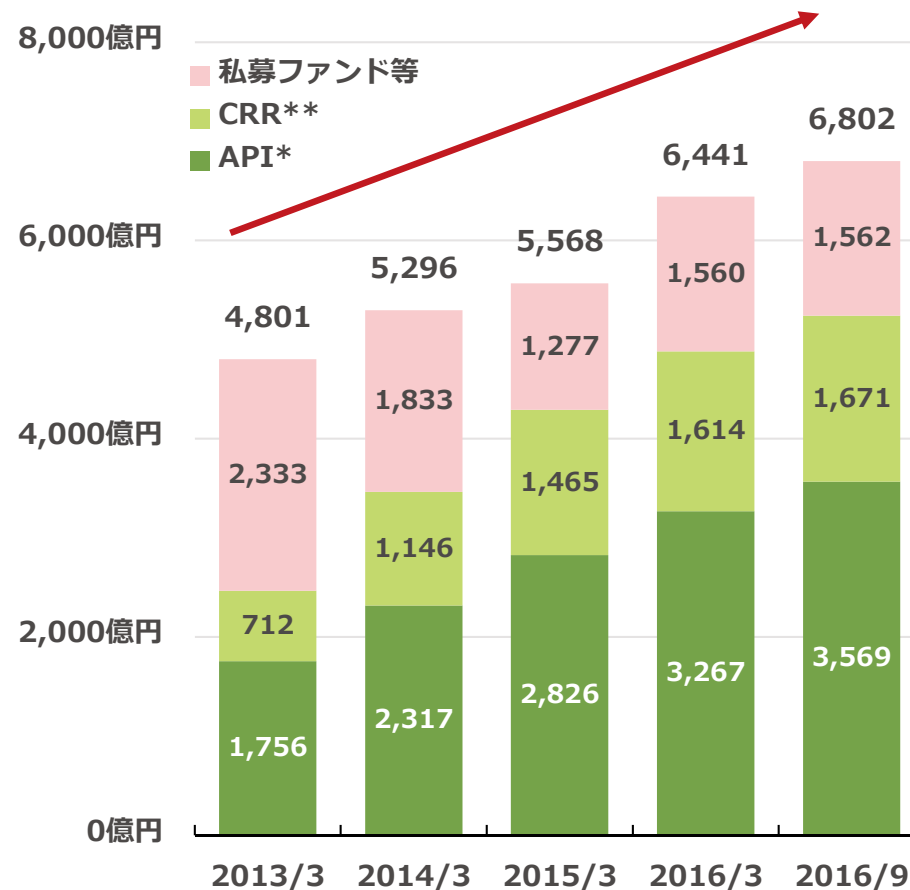
参考③ 延床面積・AUM推移

※2016年9月末時点

〈延床面積推移〉



〈AUM推移〉



* API: アクティビア・プロパティーズ投資法人
 ** CRR: コンフォリア・レジデンシャル投資法人

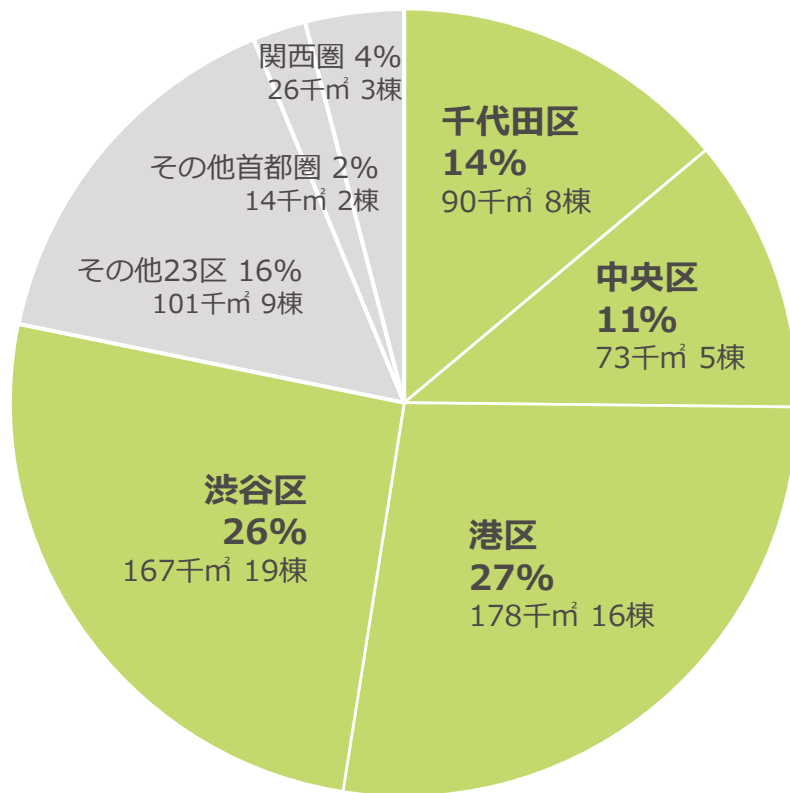
参考④ オフィスビルの分布

※2016年9月末時点

オフィス延床面積 2016年9月末 651千㎡ 62棟

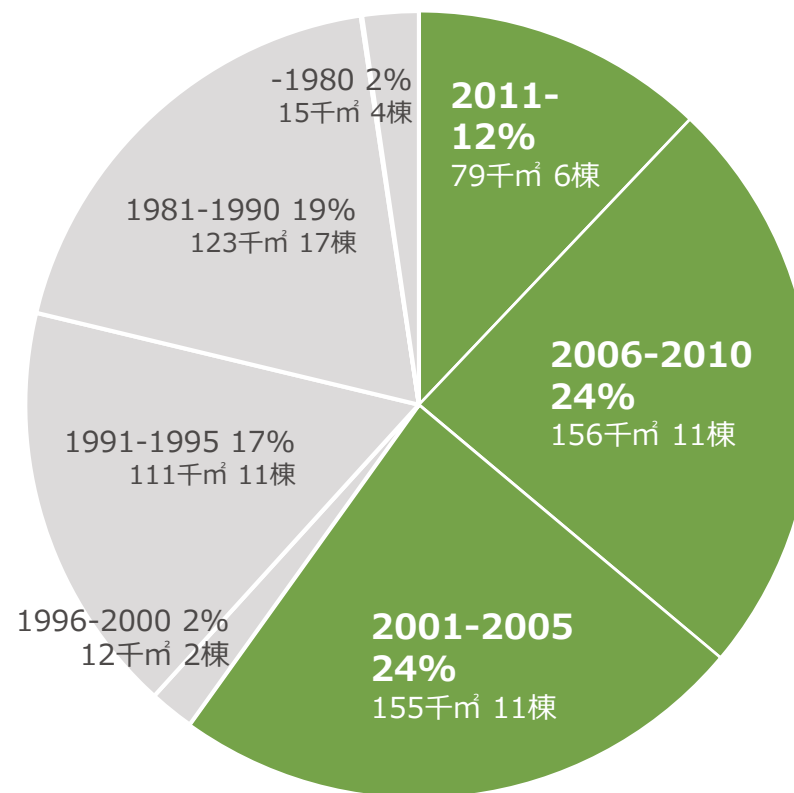
〈エリア分布〉

都心4区
509千㎡ (78%) 48棟



〈竣工時期分布〉

2001年以降
390千㎡ (60%) 28棟



参考⑤ 主要な保有物件一覧（オフィスビル）

※2016年9月末時点

2016年9月末現在 都心4区を中心に62棟を保有

エリア	棟数	主な保有ビル	築年	延床面積* (千㎡)	備考
渋谷区	19棟	渋谷センタープレイス	1983	7	 渋谷南東急ビル  恵比寿ビジネスタワー  浜松町スクエア
		渋谷道玄坂東急ビル	1983	13	
		ウノサワ東急ビル	1984	15	
		恵比寿プライムスクエアタワー	1997	35	
		渋谷新南口ビル	2000	7	
		恵比寿ビジネスタワー	2003	23	
		渋谷スクエア	2004	13	
		渋谷南東急ビル	2005	20	
		渋谷プレイス	2009	4	
港区	16棟	DBC品川東急ビル	1985	22	 南青山東急ビル  新橋東急ビル  汐留ビルディング
		新橋センタープレイス	1986	9	
		浜松町スクエア	2004	24	
		品川東急ビル	2007	21	
		汐留ビルディング	2007	12	
		南青山東急ビル	2008	12	
		新橋東急ビル	2008	15	
		スプライン青山東急ビル	2012	8	
		新青山東急ビル	2015	9	
千代田区	8棟	三番町東急ビル	2001	12	 内幸町東急ビル  霞が関東急ビル  日本橋丸善東急ビル
		一番町東急ビル	2002	20	
		市ヶ谷東急ビル	2004	15	
		内幸町東急ビル	2006	14	
		霞が関東急ビル	2010	19	
中央区	5棟	聖路加タワー	1994	14	 日本橋フロント  新目黒東急ビル  二子玉川ライズ
		日本橋本町東急ビル	2004	12	
		日本橋丸善東急ビル	2006	17	
		日本橋フロント	2008	29	
その他23区 首都圏	11棟	新宿アイランド	1995	30	 日本橋フロント  新目黒東急ビル  二子玉川ライズ
		目黒東急ビル	2003	10	
		新目黒東急ビル	2012	22	
関西	3棟	心齋橋東急ビル	1982	11	
		梅田北プレイス	2009	11	

* 当社持分相当（借上分含む）

参考⑥ 主要な保有物件一覧（商業施設）

※2016年9月末時点

2016年9月末現在 首都圏23棟、関西・地方圏8棟を展開

エリア	棟数	主な商業施設	築年	延床面積* (千㎡)	備考	
首都圏	23棟	東急プラザ蒲田	1968	28		
		東急プラザ赤坂	1969	21		
		渋谷B E A M	1992	7		
		サンローゼ代官山	1992	4		
		第二武蔵野ビル	1992	6		
		デックス東京ビーチ	1997	69		
		南青山ライカビル	1998	2		
		グラッセリア青山	2002	2		
		ノースポートモール	2007	141		
		サクラス戸塚 **	2009	48		
		東急プラザ戸塚	2010	10		
		二子玉川ライズ・ショッピングセンター	2011	20		
		東急プラザ表参道原宿	2012	3		
		キュープラザ原宿	2015	8		
マーケットスクエア川崎イースト **	2016	30				
東急プラザ銀座	2016	51				
関西圏・地方	8棟	マーケットスクエア中山寺	2003	22		
		みのおキューズモール	2003	30		
		マーケットスクエアささしま	2005	19		
		あまがさきキューズモール	2009	164		
		あべのキューズモール	2011	123		
		東急プラザ新長田 **	2013	10		
もりのみやキューズモールBASE	2015	24				

* 当社持分相当 **一括借上



東急不動産ホールディングス